

令和6年度 学校経営計画

江田島市立江田島中学校

I ミッション（地域社会における自校の使命・存在意義）

【保護者・地域から信頼され、生徒が誇りに思える学校づくり】

生徒の「生きる力」を育むことを目指し「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育成し、その水準の向上に努める。

II ビジョン（目指す学校像・自校の将来像）

【目指す生徒像】

「知・徳・体」の基礎基本を身に付け、社会に通用する生徒

- 「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒 ～礼儀は鎧・礼儀は人を守る～
- お互いが尊重・協力し、感謝できる生徒
- 自らに誇りを持ち、粘り強く挑戦する生徒 ～一生懸命がかっこいい～

【目指す学校像】

- 心身ともに健康な体と思いやりの心を育み、学力を伸ばす学校
- 教職員の資質の向上と組織の機能化を図る学校
- 教育環境の整備と開かれた学校

【目指す教職員像】

- 教育的愛情と使命感を持ち、生徒に範を示す教師
- 研修に励み、組織的に職務遂行する教師
- 生徒を鍛え延ばす教師

III 現状分析

【知】：2年生は平均的な学力であり、特に課題のある生徒も少ない。3年生は実力試験で100/500以下の生徒が10名以上おり、高い生徒も数名であり、特に課題が多い。基本的な知識・技能が身に付いていない生徒も多く、家庭学習の習慣も課題である。

また、自分の考えを書いたり発表できなくなったりしており、これが試験での無答率の増加にも繋がっている。家庭学習等の定着させる（鍛えて覚えさせる）取組や多くの問題に当たらせるといったことが不足している。（ ）は令和4年度

- 「授業がわかりやすい」「書いている」「発表している」と肯定的に回答した生徒
わかりやすい 81.7% (86.3%) 書いている 63.4% ✓ (90.6%)
発表している 52.5% ✓ (76.8%)

- 江田島市統一テスト（ ）内は全国平均
国語 1年 64.3(62.0) 2年 63.4(67.8)
社会 1年 56.7(58.8) 2年 39.8(45.2)
数学 1年 56.2(53.7) 2年 42.8(50.1)
理科 1年 63.2(60.8) 2年 50.1(57.0)
英語 1年 53.8(54.2) 2年 38.7(49.5)

- 「家庭学習を1時間以上している」と回答した生徒（ ）は前年度の当該生徒
1年生 70.0% 2年生 58.9% (92.6%) 3年 65.9% (77.0%)

- 江田島市統一テストの無答率 1年生 4.6%～9.6% 2年生 12.2%～26.0%

【徳】：「凡事徹底 ～誇り・感謝・挑戦～」を学校教育目標としており、「時を守り、場を清め、礼を正す」について、生徒に意識を高く持つように指導している。昨年度後半から、意識の高まりを感じるようになり、学校の雰囲気も変化してきている。

○ 時を守り、場を清め、礼を正す

- ・「時間を守っている」と肯定的に回答した生徒 84.2% (92.7%)
- ・「黙動清掃をしている」と肯定的に回答した生徒 82.5% (93.1%)
- ・「返事をしている」と肯定的に回答した生徒 90.0% (89.5%)
- ・「挨拶をしている」と肯定的に回答した生徒 87.5% (79.3%)
- ・「整理整頓をしている」と固定的に回答した生徒 73.3% (92.7%)

○ 自分も他人も大切にできる生徒

- ・「自分に自信がある」と回答した生徒 79.1% (83.0%)
- ・「他人に親切にしている」と回答した生徒 89.1% (80.0%)

【体】：健康に対する意識や、疾病の治癒率などは上昇している。体力・運動能力調査において依然として大きな課題がある。何事も粘り強く頑張るという意識が低い。

○ 体力・運動能力調査の状況

- ・全国平均以上 39.6% (35.4%)

○ 健康管理の状況

- ・「健康を意識した生活をしている」と肯定的に回答した生徒の割合 76.6% (73.6%)

【開かれた学校】：学校便りやHPの更新は計画的に行っている。

○ 学校便りの発行部数 20号 (16号) HPの更新回数 88回 (91回)

○ 学校評価アンケートで「学校の様子がよく分かる」と回答した保護者 83.0% (85.0%)

IV 学校教育目標及び取組

「凡事徹底 ～ 誇り・感謝・挑戦 ～」

中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
学力の向上を図る【最重点】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 知識技能を習得させ、活用する力を向上させる。 ○ 個別最適な学びを推進し、個々の実態に応じて学力向上を図る。 ○ 学習意欲を向上させ、学習習慣を定着させる。 ○ ICT機器を積極的に活用するなどして協働的な学びを推進する。【重点】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業において個人で考える時間、自分の考えを書く時間を保障することで、テストの無答率減少にも繋げる。 ○ 各教科において小テストや単元テスト等の「定着させる」「鍛える」取組を工夫・充実させ、年間を通してやり切らせる。教師もやり切る。 ○ 家庭学習の充実【新規・重点】 <ul style="list-style-type: none"> ・最低1日1時間を目標にして、月30時間、60時間、100時間を区切りに表彰することで学習意欲を高める。 ○ 教科の授業において「考え、議論する場」を設定 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを持たせて表現させる ・各教科（道徳科も含む）

		<ul style="list-style-type: none"> ○ タブレットを活用し、発表が苦手な生徒も自分の意見を出し交流できるように工夫する。
豊かな心を育成する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「時を守り、場を清め礼を正す」ことの定着 ～礼儀は鎧 礼儀は人を守る～ ○ 自他ともに大切にする生徒を育成する。 ～一生懸命がかっこいい～ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 時間を守る、整理整頓をする、挨拶・返事をすることを徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・ノーチャイムの徹底 ・黙動清掃の徹底 ・校門一礼、立ち止まって挨拶 ○ 集団づくり <ul style="list-style-type: none"> ・合唱を柱とした集団づくり ・縦割り活動の充実（3年後を見通す）体育祭、合唱、文化祭 ○ 小中9年間で、キャリア発達を促す <ul style="list-style-type: none"> ・「見つめる力」「見通す力」の重点化 ○ 自己肯定感、思いやりの心を育成（自他を大切にする生徒）
健やかな身体を育成する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体力の向上と健康に気を付けた生活習慣の確立を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育の授業の充実 ○ 部活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の活動に指導者が付ききる ・結果にこだわる（結果を出す） ○ 目的意識をもたせた業間体育（集団行動の場としても活用） ○ 保健指導の機会を増やし、基本的な生活習慣の確立と健康管理を行う
開かれた学校づくりを推進する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者・地域へ、学校の取組を周知し信頼・協力を得る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校新聞やホームページによる保護者・地域への情報発信 ○ 授業にゲストティーチャーを積極的に招聘する。
教師力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業力の向上を図る。 ○ 不祥事を起こさない、起こさせない職員集団の雰囲気づくり ○ 働き方改革の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業づくり研修 中教研教科部会の研究授業に合わせて4回の全体授業研修を実施し、授業力向上を図る。 ○ 主任の機能化とリーダーシップ ○ キャリア教育指定事業の成果を生かした総合的な学習の時間の工夫・改善 ○ 日常的なサービスの注意喚起 <ul style="list-style-type: none"> ・職朝などでの日常的な注意喚起 ・学年団による服務研修 ○ 効率的な教育活動を実践し時間外勤務を削減 <ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務 80 時間以上 年間 0 人 ・子供と向き合う時間が確保されていると感じる教員 100% ・定時退校日を意識した教員 100%